

大手川に生えるヨシクイズ！



Q1.これは何でしょう？



ヨシのくき 正解

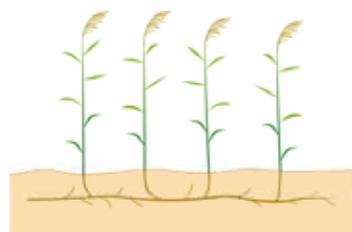
ヨシの根っこ

スイカのツル

ヨシのあれこれ、Part1

- ・ ヨシの根は、土の中1mほど深く、また広く根をはり、土が流されないように守る働きがあります。
- ・ ヨシの根が地中にはうことで、土の深くまで空気を運ぶことができ、たくさんの生物がその土の中で生きることができます。
- ・ 土の中には、ヨシの根にそって空間ができやすく、カニなどのすみかに利用されることもあります。

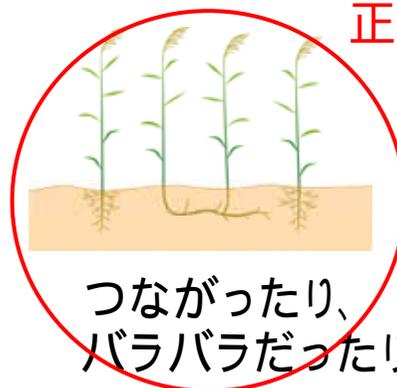
Q2. ヨシの根は土の中でどうなっているでしょう？



つながっている



バラバラ



正解

つながったり、
バラバラだったり

ヨシのあれこれ、Part2

- ・ ヨシは、冬の間枯れて、陸上ではその姿は見るできません。しかし、地下で根っこだけ生きて、4～5月頃にまた芽を出し大きくなります。
- ・ ヨシは、根っこから水と栄養(ちっそやリン)をすいとして大きくなります。栄養を吸い取ることで、その川の水質をきれいにしてくれます。
- ・ 枯れたヨシからちっそやリンが再び川に流れでるので、みんなで協力して枯れたヨシを取りのぞく等の対応が必要です。

Q3 . ヨシはどれくらいの大きさになるでしょう？

一般的には1 ~ 3mだが、
長いもので5mになるものもあります。

1.5m

3m

5m

正解

ヨシのあれこれ、Part3

- ・ ヨシのクキは太くてかたいが、中は空どうになっています。
 - ・ ヨシは古くから、生活に利用されています。
- その中で、最も身近なのが夏の日差しよけに使われるヨシズです。
- ・ ヨシは古く、アシと呼ばれていましたが、「悪し」に聞こえ縁起が悪いため、「善し」に改められたという説があります。
 - ・ 昔から万葉集にも歌われる程、一般的な植物でした。

葦辺(あしへ)行(ゆ)く、

鴨(かも)の羽交(はが)ひに、霜(しも)降(ふ)りて、

寒(さむ)き夕(ゆふへ)は、

大和(やまと)し思(おも)ほゆ 志貴皇子(しきのみこ)

葦(あし)の末葉(うらば)を、誰(た)れか手折(たを)りし、

我(わ)が背子(せこ)が、振(ふ)る手を見むと、

我(わ)れぞ手折(ちを)りし 柿本人麻呂(かきのもとひとまる)